

狭山市協働事業完了報告書

平成27年3月5日

狭山市長 仲川幸成様

団体名 特定非営利活動法人 ま保育サポートの会
 所在地 狭山市狭山
 代表者名 諏訪 きぬ

平成 26年 5月29日付けで採択された協働事業が完了したので、狭山市提案型協働事業実施要綱第12条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 協働事業の成果

事業名	子育て支援方策の拡大・深化—家庭訪問型支援(ホームスタート)の導入
事業費総額	722,892円
事業期間	26年 6月 1日から 27年 2月 28日まで
実施場所	オーガナイザー養成コース……川崎市 ホームビジター養成講座……狭山市市民交流センター ホームスタート試行……各家庭
参加者数	オーガナイザー養成コース 3名 ホームビジター養成講座 15名 ホームスタート試行 5家庭
事業実施内容及びその成果	<ol style="list-style-type: none"> 4月ホームスタートさやま準備委員会設立・ビジター講座生募集チラシ作成。 オーガナイザー養成コース 6月13日14日15日2泊3日 3名派遣。諏訪きぬ 山根静子・斎藤佐江子が認定。プレスキーム「ホームスタートさやま」発足。 ホームビジター養成講座 9/8～11/17の8日間・1日5時間 講師はホームスタートジャパン(HSJ)等派遣される。また地域の実情から学ぶ必要性から狭山市内で活動している方々も講師に迎える。(別紙プログラムのとおり)受講生15名。台風の影響により2名は来年度に受講する。修了生13名のホームビジターが誕生。 HSJ運営委員会発足。9月24日・11月12日2回開催。メンバー・風間浩美(入間川病院)・唐田順子(西武文理大学)・宮本雄司(元狭山市子ども家庭部長) 井深佳洋子(井深マタニティ)・矢島京子(さやま総合子育て支援センター) 木村なつめ(保健センター)・岸洋子(民児協会)・オーガナイザー3名。計10名。ホームスタート訪問試行のチラシを配布、広報活動の協力を仰ぐ。大きな期待と協力を得られ、有意義な会議となった。 HSJ埼玉会議11月18日浦和於。左記主催研修会12月26日山根オーガナイザー参加。 ホームスタート試行はチラシの効果があり12月から開始する。5家庭実施中。 核家族、転勤者家庭が多い。中には折を見て関係機関につなげることの必要なケースもある。無料でほっとできることが大変喜ばれるようだ。生活経験豊かな実年者を求めている。27年度が楽しみである。
添付書類	<ol style="list-style-type: none"> (1)狭山市協働事業収支決算書(様式9条) (2)協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し (3)事業の成果がわかるもの(写真、チラシ等) (4)その他市長が必要と認める書類

